

- 歴史文書館へ行こう！ . . . . . P1～2
- WEBで読める！楽しめる！文化財情報 . . . P3
- 民具教室開催中！ . . . . . P4
- コラム『中学校の思い出と古墳の縁』江塚直弘 P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和7年3月3日発行

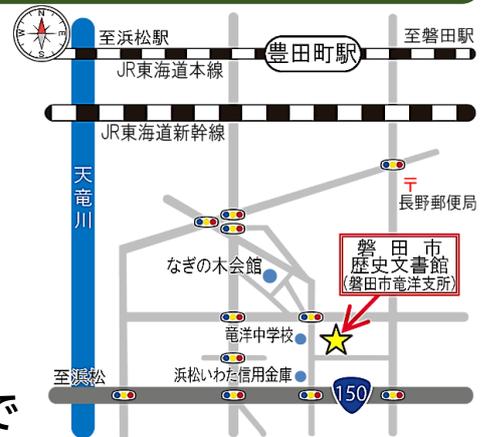
2つの展示を開催中！

# 歴史文書館へ行こう！

現在、歴史文書館では2つの展示会を開催中です。  
この機会に歴史文書館に行ってみませんか？

**1階** 『昭和の磐田駅と駅前商店街』  
令和7年5月2日（金）まで

**2階** 『新収蔵資料展』  
令和7年6月20日（金）まで



休館日：土曜・日曜・国民の祝日 場所：歴史文書館（磐田市岡 729-1/電洋支所内）  
開館時間：1階 午前9時から午後5時  
2階 午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）  
問合せ：歴史文書館 TEL0538-66-9112

## 1階 『昭和の磐田駅と駅前商店街』

歴史文書館1階では、広報いわたや歴史文書館だよりなどで昔懐かしの写真を募集し、寄贈していただいた写真を中心に展示をおこなっています。

今回の展示は、今から半世紀ほど前である昭和30年から昭和40年代の「磐田駅と駅前商店街」を紹介します。



看板や行き交う車の形も懐かしい昭和40年代の磐田駅前広場と堂山古墳（東貝塚）出土の轎形埴輪のモニュメントの写真や、現在の駅では見られない切符を駅員さんが切る風景や改札前に置かれた伝言板の写真、歴代の磐田駅舎の写真などを展示しています。

写真以外にも、昭和に発行した広報いわたの中から磐田駅周辺を紹介した記事や、昭和33年の駅前商店街の店名を示した資料、歴史文書館所蔵資料を用意しておりますので、併せてお楽しみください。

駅前広場の轎形埴輪(昭和40年代前半)

## 2階 『新収蔵資料展』

歴史文書館 2階では、令和6年度に寄贈していただいた資料の一部を展示した平常展『新収蔵資料展』を開催しています。

明治時代から現在まで営々と維持・発展させた「寺谷用水」(※1)の取決めや会議の運営資料などが寄贈されました。

中でも、明治22年(1889)の広瀬村を通る用水路に関する「議定書」(右写真)の文末には、地域の発展に尽力した事務担当人「鈴木浦八」(※2)の名があります。

また、公図や土地台帳を基に作成された、当時の地籍を知る資料である中泉町土地法典や、昭和40年代前半(推定)の今之浦を写した写真、明治20年(1887)に開通した向笠の高塚太郎平が開いた「高塚新道」(現掛川市原川から磐田市匂坂中に至る道路)の絵図(複製)を展示します。ぜひ、ご覧ください。



議定書

(※1) 寺谷用水は、徳川家康の命を受けた家臣・伊奈忠次と地元の代官であった平野重定が、天正18年(1590)に寺谷村から浜部(はまべ)村まで約12kmの用水路を開削しました。かんがい面積は、73ヶ村(後に80ヶ村)、約2,000haに及び、これにより2万石もの収穫をもたらしました。

(※2) 嘉永5年(1852)加茂西村(現磐田市加茂)生まれ。明治8年(1875)に地租調査委員になり、村内の耕地調査をしたが、耕地の大きさが大小様々であり、境のあぜが曲がりくねるなど、耕作に不便な状況であった。明治20年(1887)に、水田を一定の大きさに定め、境を東西南北にひくなどの耕地整理に尽力した。この耕地整理は、後の明治32年(1899)に法制化される耕地整理法へ発展していった。

### こんな時、ご相談ください！

- 古い家や蔵を壊すので古文書や古写真などの資料を、磐田市へ寄贈したい
- 郷土や先祖の研究のため、資料を紹介してほしい など

歴史文書館では、個人や自治会などの所有資料も収集しています。保管に迷われていましたら、ご連絡ください、寄贈された資料は“〇〇家文書”“〇〇自治会文書”として大切に保存し、皆様の郷土研究や町づくりに役立つように公開させていただきます。



外観

ちょっと足を延ばして、あわせて見学！

### 竜洋郷土資料館

休館日：月曜・国民の祝日・年末年始

開館時間：午前9時から午後4時30分 入館無料

場所：磐田市岡405-47/竜洋支所の道を挟んで東側建物

竜洋郷土資料館では、市民の皆さまから寄贈していただいた民具を保存し、その一部を展示・紹介しています。

1階は、農業・林業・漁業などの道具を、2階では「生活用具」「飛行場」「掛塚湊」「郷土の祭り」「戦争」「天竜川」などテーマごとに、資料を展示しています。ぜひ、ご見学ください。



館内の様子

# WEBで読める！楽しめる！ 文化財情報



文化財課では、市内の文化財を紹介したパンフレットや発掘調査報告書、国・県・市指定の無形民俗文化財などをWEB上で公開しています。ぜひ、ご利用ください。

## 文化財を紹介したパンフレット、歴史資料や絵図など 各種パンフレットと資料公開中！



磐田市立図書館  
電子書籍サービス  
(文化財課刊行物一覧)

市内の文化財を地区ごとに紹介したパンフレットや史跡を紹介したパンフレット、文化財課が過去に主催した企画展のパンフレットなどを磐田市立図書館ホームページ内の電子書籍サービスでご覧いただけます。



パンフレット

現在整備工事中の遠江国分寺跡でおこなった現場説明会の配布資料も公開しています。また、“磐田市の歴史・文化を知る”の 카테고리からは市指定文化財の「匂坂中村絵図」をはじめとする絵図や古文書も閲覧できます。これらは、ログイン不要で見ることができます。

<公開中のパンフレット・資料>いわた東海道見て歩き、磐田原台地西縁の遺跡、一の谷中世墳墓群、天竜川堤防絵図、灯台付近海岸図など

## 磐田市内の遺跡の 発掘調査報告書公開中！

全国遺跡報告総覧にて、「遠江見性寺貝塚の研究」「城之崎遺跡発掘調査報告」「静岡県磐田郡松林山古墳発掘調査報告」「御殿・二之宮遺跡発掘調査報告」などをPDFで公開しています。(ダウンロード可)

このほか、静岡県埋蔵文化財センターなどが発行した磐田市内の遺跡の報告書も掲載しています。



全国遺跡報告総覧

<公開中の市内の遺跡発掘調査報告書>上記のほか「磐田 67 号墳調査報告書」「磐田市竹之内原古墳調査記録報告」「西貝塚」「磐田郡豊岡村押越・社山古墳群調査報告書」「玉越遺跡」「広野北遺跡発掘調査報告書」「合代島丘陵の古墳群」「西の谷遺跡」「高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡」など

## 国・県・市指定の無形民俗文化財などの 動画公開中！

磐田市公式 YouTube チャンネル『磐田 TV』で、国・県・市指定の無形民俗文化財や国の史跡である旧見付学校附磐田文庫を紹介した動画などを公開しています。市内の国・県・市指定の無形民俗文化財は、ダイジェスト版（3分程度）をご覧いただけます。



磐田 TV

<動画で紹介している文化財>見付天神裸祭、掛塚祭屋台囃子（掛塚まつり）、氏神様の年始回り、賀茂神社特殊神饌、大めし祭り、加茂大念仏、豊岡地区伝承の遠州大念仏など

# 民具教室開催中！

文化財課では、市内の小学校に赴き、小学3年生を対象として、古い道具や昔の暮らしについての民具教室を開催しています。

参加した小学生からは、「アニメで見たことある！」「おばあちゃん家にあったよ！」「昔話に出てきた！おばあちゃんが川で使うやつだ」などと、道具を紹介する度に元気な声があがりました。

中でも、大人気なのは『黒電話』で、最初は電話の掛け方がわからなかった子どもも、説明を聞いた後には、ダイヤルを回した時の音や感触などを、各々楽しんでいました。

実際に使われていた古い道具を見たり触ったりする中で、昔の人々の暮らしの知恵や工夫、生活の移り変わりに興味を持っていただけたら幸いです。



民具の説明を聞く様子

## 職員リレー コラム

### 中学校の思い出と古墳の縁

江塚 直弘

磐田市の東部に位置するJR御厨駅<sup>みくりや</sup>周辺は、古墳の宝庫です。

私の母校である神明中学校<sup>しんめい</sup>は駅の東側に位置しており、グラウンドの東側には「高根山古墳<sup>たかねやま</sup>」があります。中学生の頃は、部活の「体力づくり」として古墳の外周を兎跳びで回っていました。

また道路を隔てた北側には「松林山古墳<sup>しょうりんざん</sup>」があります。当時は気軽に登れる見晴らしの良い小山という認識でしたが、やはり「体力づくり」のため頂上までの階段を走って往復していました。

先日、約40年ぶりに古墳まで足を運びましたが、樹木が大きく成長したほかは当時の印象のままでした。駅周辺は土地区画整理事業や橋の建設が進行中であるため、街の風景も変化し続けています。同時に、古くから伝えられ保存されてきたものの大切さも忘れてはならないと思います。

埋蔵文化財センター1階には、「松林山古墳」のジオラマを展示しています。運動が苦手な私にとっては、古墳を見るたびに当時の苦い思い出がよみがえりますが、仕事で関わることのできる縁も感じています。



松林山古墳

御厨周辺の古墳  
について詳しくは  
こちらをチェック！

磐田市図書館の電子書籍サービスにリンクしています



**編集後記** 民具教室に行くと、毎回子どもたちの元気よさに圧倒されます。授業時間が終わる頃には、喉も体力もカッスカス...学校の先生の凄さを感じます。体力が欲しいです。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより



検索